

# ぱれっと

2008  
7月

No.107

## ■ 目次 ■

すぽっとらいと

自然を守る

NPO法人サイカチネイチャークラブ  
市民活動シアター活用術

アラカルト

『がんばれ美術館ボランティア』

サポ本を読もう  
サポセン広場

サポダス  
イベント紹介  
お知らせ

2007年度サポダス

7月のイベント紹介

ロッカー・レターケース使用団体募集！



### スポットライトのフォーカスを調整中

サポセン地下にある劇場のスタッフです。地下の劇場は、市民活動シアターといえます。ライブ、ダンス、お芝居、コンサート等、いろいろな催し物にご利用いただいています。観客の皆様はもちろん、主催者、出演者、裏方さんも、私たちにとっては劇場をつくっていくお仲間であり、大切なお客様でもあります。皆さまにご満足頂ける劇場を目指して、日々働いております。

# すぽっとらいと

◆市民活動サポートセンターを活用している団体にスポットをあて、その活動の様子や運営のノウハウをご紹介します。

## 自然を守る

### NPO法人サイカチネイチャークラブ

仙台市青葉区愛子の錦ヶ丘から、秋保に抜ける県道を少し下ったところにサイカチ沼はあります。もとは農業用のため池として作られたサイカチ沼。その自然豊かな環境を拠点に活動しているのが、サイカチネイチャークラブです。

今回は、観察会に参加して、代表の小野さんをはじめ会員の皆さんにサイカチネイチャークラブの魅力についてうかがいました。



▲ 代表の小野正之さん

## ●きっかけも“自然”だった

NPO法人サイカチネイチャークラブの前身である“サイカチ・ネイチャー・クラブ”ができたのは、1994年8月。(財)日本自然保護協会主催の自然観察指導員講習会で出会った、代表の小野正之さんと他5名の理事が、講習会での経験を生かそうと始めたのがきっかけでした。活動拠点は、仙台市西部に位置するサイカチ沼。仙台の自然環境保護を目的として毎月行われる定点観察会がすべての始まりでした。

「レイチェル・カーソン映画会」を主催したり、(財)アース基金協会表彰を受けるなど、順調に活動を続け、2003年これまでの活動により高い信頼性をプラスするため、法人化に踏みきることに。こうして、NPO法人サイカチネイチャークラブは誕生しました。法人化後は、みやぎ・せんだいこどもエコクラブ・ネットワーク事務局の設立や、ピオトープ管理士試験への支援をはじめ、環境関連制度への支援活動も積極的に行っています。

## ●活動の原点 ～自然観察会～

活動の多様性から、メインは何かと聞かれることもしばしばですが、原点はいつも自然観察会にある、と小野さんはおっしゃいます。設立当初から続いている自然観察会は、7月2日で168回目。毎月観察会が楽しみで仕方ないという参加者の皆さんは、「季節の移ろいと共に、風景は変わります。同じ春でも山の様子は毎年違って、毎回様子が違うんです。観察会は、ひと月に1回だけど、いつも新しい発見があって飽きません。」と、満面の笑みでお話してくださいました。

50～60代の参加者が多い自然観察会。子ども向けの環境教育支援も、こどもエコクラブの活動などを通じて行っています。

ある小学校で行われた仙台市の環境教育イベントで大人気だったのは、動物のフンから山の状態を知るというもの。猿は冬場、木の皮などを食べて過ごしていますが、それもなくなると、里に降りて農作物を荒らしてしまいます。生態系の異変、山の異変を生き物のフンを通して知ることができ、山に木の実がなることの大切さも理解してもらえるのだそうです。

## ●信頼関係 ～会員をつなぐもの～

代表である小野さんは、観察会のかなめです。自然に関するあらゆる知識を持ち、感じる喜び・学ぶ楽しさを会員や参加者と共有しています。

同時にサイカチネイチャークラブの取り組みがどのように社会に貢献しているか、会員に対するアナウンスも欠かしません。自然観察会の最後には、事業の進捗状況を説明し、会員に次の活動の協力を頼みます。



▲ 自然観察会の様子

## 団体紹介

### サイカチネイチャークラブ

宮城県蕃山・斎勝沼緑地保全地区内のサイカチ沼、月山池、南西地域遊歩道を拠点とした毎月の定点観察会を軸に、熟年自然体験教室・こどもエコクラブ支援・仙台市天文台協力事業・ビオトープ管理士試験支援など、様々な環境保護に関わる活動を行っています。

#### <団体連絡先>

〒984-0812  
 仙台市若林区五十人町85  
 TEL/FAX 022-352-6810  
 E-mail:snc-salvia-j@basil.ocn.ne.jp



▲ サイカチ沼

「まずは、会員や、参加者に対してのリードミスをしないこと。自分たちのやっていることが、ボランティアの押し付けになっていないか、常に自問自答しています。植物に関することでも、判らない事は判らないと伝え、不確かなことは言いません。日々、勉強ですね。組織の運営は、上に立つ者が積極的に関わってやっていくことが大切だと思っています。」と小野さん。

事務局と会員をつなぐのは、互いの信頼関係とミッションの共有。それが自然な形で行われていることが、今の活動に繋がっているのではないのでしょうか。

自然の中が活動拠点であるサイカチネイチャークラブ。サポセンの利用方法をうかがうと、上映会や発表会のために貸室を利用されているとのこと。「現場で活動するのが基本なので、ふりかえりや、発表を行う場があることはとても助かりました。貸室や補助金などもそうですが、“ありがたい”という気持ちをもってないとダメですね。」と小野さん。予約なしに使える交流サロンなど、市民活動の場としてのサポセンをもっとPRすべきというアドバイスもいただきました。

### ●生きがいを感じられる活動を

会の立ち上げから14年。法人格も取得し、設立当時のメンバーが今も活躍するサイカチネイチャークラブ。課題は、次世代の人材確保です。

リタイヤした後に活動を始められる方が多い中で、小野さんは、会社で働く人たちが、現役中から活動を始められることが大切だと考えています。世間ではCSRが注目されてきてはいるもの

の、現役で働く社員が活動に参加したり、きっかけを掴めるような機会作りを行っているところは、まだまだ少ないのが現状。社会的なしくみが必要なのだとおっしゃいます。

今後は、会の活動を通じて、子どもの環境教育に力をいれるとともに、シルバーエイジの生きがいづくりの場も提供していきたいと考えているそうです。

サイカチネイチャークラブはこれからも、自然観察会を活動の中心にすえ、常に自然を感じながら環境保護の大切さを伝えていきます。



### 取材を終えて・・・

「わたしは子どもにとっても、どのように子どもを教育すべきか頭をなやましている親にとっても『知る』ことは、『感じる』ことの半分も重要でないと固く信じています。」



レイチェル・カーソン  
 「センス・オブ・ワンダー」より

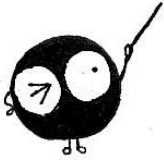
これは、サイカチネイチャークラブが好きな言葉です。5月10日の自然観察会に参加して思ったことは、“感じること”の重要性でした。図鑑でしか知らなかった花を見て、感動すること。季節の移り変わりを肌で感じる。そしてその感動を共有できる仲間がいること。それが、サイカチネイチャークラブの大きな魅力だと感じました。

(担当 大西 千佳)

# アラカルト

◆市民活動に役立つ情報やサポセンで開催された講座や事業の報告など、毎月いろいろなテーマでお送りします。

## 市民活動シアター活用術



もうすぐオープンして3年目を迎える市民活動シアター。少しずつ認知度も上がり、利用者の方々からお問い合わせをいただく機会が増えてきました。そこで今回は、市民活動シアターについての説明と、イベント開催時のお役立ち情報をお届けします。

### ■市民活動シアターとは？

市民活動シアターは、社会や地域の問題解決をめざす市民活動や、芸術文化の創造・振興・普及をめざす活動にお使いいただける貸室です。サポートセンターの他の貸室ではできない、演奏・合唱・踊り・演劇などができます。

例えば、NPOのシンポジウムや交流会で立食パーティーや歌、踊りなどを開催したり、劇団の公演や音楽教室の発表会などで使用できます。

### ■利用案内完成！備品も新しく

この春、新しく『市民活動シアター利用のご案内』が完成しました。この利用案内は、シアターの申し込みから当日までの流れと、施設を利用する場合の注意点、イベント当日までの準備ポイントが盛り込まれています。そのため、シアターを利用する時だけではなく、イベントを開催する際にも役立ちます。

また、利用案内だけではなく、シアターの設備・備品も新しい物が入りました。

主な変更点としては以下の3つになります。

- ・ミキサー、メインスピーカーの入れ替え
- ・客席後方に照明のバトンと照明回路の新設
- ・照明調光卓の入れ替え

この他にも、古くなっていた備品の整備を行い、備品リストも新しくなりました。備品リストは1階事務局窓口に用意してありますので、必要な方はスタッフまでお声掛けください。

### ▼新しくできた利用案内



▲新調したミキサー



『がんばれ美術館ボランティア』  
著者：嶋崎吉信  
清水直子  
発行：淡交社  
定価：1,680円（税込）

■サポセン図書  
「文化・芸術 G」の棚にあります。

か考えているのがこの本です。  
本書では、美術館のボランティアの取り組みや問題点について指摘していますが、ボランティアと組織がどう向き合うべきか他の分野でも多いに参考になる点があります。ボランティアの運営に悩んでいる方は、ぜひ読んでみてはどうでしょうか？

（担当 内川 奈津子）

## サポ本を読もう！

### 『がんばれ美術館ボランティア』

◆サポセンの図書コーナーの本を紹介します。

## ■シアター専用の告知スペース

さて、実際にイベントを開催するとき、一番苦労するのは、集客のための広報活動ではないでしょうか。みなさんは1階に設置されているチラシラック以外に、シアター専用のチラシラックがあるのをご存知でしたか？

サポセンの入り口の自動ドアを入って、すぐ横にあるチラシラックはシアターで開催されるイベント専用のチラシラックです。サポセン来館者だけでなく、道を歩いている人も気軽に手に取っていかれることも多く、宣伝効果は抜群です！また、建物の外にはシアター専用のポスター掲示板もあり、シアターでのイベント開催を広報面からもサポートしています。

これまでの利用者からも、「演奏者が素晴らしい会場でやりやすいと言っていました。」「セッティングと後片付けはちょっと大変でしたがとても良い雰囲気できました！」などの声をいただいています。シアターはこれからみなさんのアイデアしだいが多様な使い方ができそうです。



▼サポセン入口横にある、ポスター掲示板。通行人への宣伝効果は抜群です。



「イベントを開催したいけど、シアターを使いこなせるか心配」という方は、ぜひ一度スタッフまでご相談ください。イベント前には、担当スタッフとシアターの使い方について打ち合わせも行ないますし、スムーズにイベントが行なえるようにサポートしています。シアターの見学も随時受付けていますので、シアターに興味を持った方は是非スタッフまでお声掛けください。

(担当：内川 奈津子)

### ◆イベント開催時に役立つクリッピングサービス

- \* 市民活動団体が利用できる機材一覧
- \* メディア活用大作戦
- \* 仙台市内ホールマップ

※クリッピングサービスは、市民活動に役立つ情報をテーマごとにまとめたものです。サポセン1F情報サロンにありますのでご覧ください。

## サポセン広場

◆利用者の皆様から寄せられた声にお応えします。

合成洗剤ではなく、せっけん洗剤をおいてください。

ご意見ありがとうございます。環境にやさしい、せっけん洗剤を導入できるよう検討いたします。

施設がとてもきれいで良かったです。部屋もいつもきれいで使いやすいです。

貸室は、毎回前の団体が使用した後、室内の清掃をおこなっています。また貸室を利用の際には、皆さんに現状復帰やごみの持ち帰りにご協力いただいています。これからも、皆さんが気持ちよく使えるよう努めていきたいと思えます。

# 平成19年度 サポダス

数字でみるサポセンの1年

サポセンは、平成18年度9月1日に仙台市青葉区本町から一番町へ移転してきて、1年半が経ちました。

今回は、平成19年度のサポセンが皆さんにどのように利用されたのか、年間報告書の数字から見ていきたいと思ひます。



## Q どれくらいの方が利用したの？

1日平均利用者数  
**166人**

## Q どんな人たちが利用したの？

平成19年度のサポートセンター利用者総数は18,451件で57,943人でした。

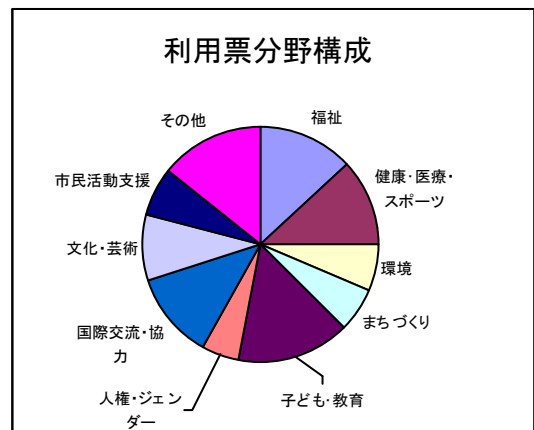
(利用票の提出から集計) 開館日は348日だったので、1日平均166人の方にご利用いただいたこととなります。

貸室、フリースペース、情報掲示利用など、移転前の平成17年度と比べると利用率はアップしています。一番町のサポセンも、皆さんの活動の場としてすっかり定着してきたようです。

皆さんにご提出いただく利用票では、活動分野についてもうかがっています。その結果が、下の分野構成グラフです。

サポセンは、多様な分野で活動している皆さんの活動拠点になっていることがわかります。これは、開館以来から変わらずサポセンの特長の一つです。

項目	平成19年度	平成17年度比
貸室利用	3,093	110.7%
フリースペース利用	2,908	140.0%
情報掲示受付	3,751	105.8%
パソコン利用	2,635	90.1%
印刷機利用	1,735	87.9%
レターケース取扱い	3,462	93.6%
相談	814	82.4%
視察・見学	53	76.8%
総利用件数	18,451	102.2%
総利用者数	57,943	141.2%

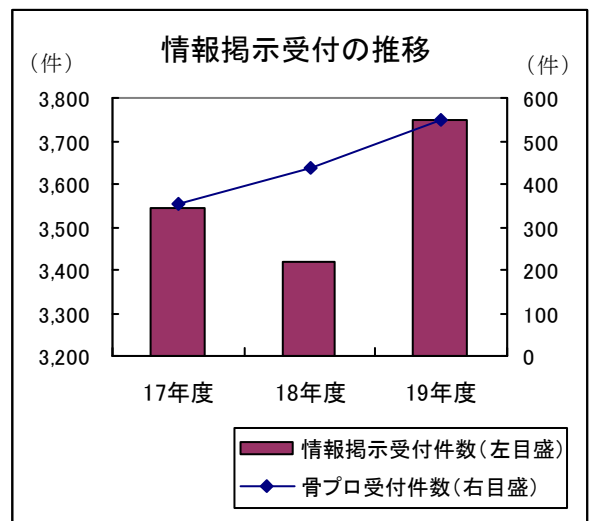


## Q 人が集まるところに、情報も集まるの？

平成19年度のチラシ、ニューズレターなどの情報掲示受付件数は、3,751件でした。特に、平成17年6月にサービスを開始した「骨プロ」(仙台に情報の背骨を通すプロジェクト)の利用件数は毎年増加傾向にあります。これらサポセンに持ち込まれた情報は、「団体情報ファイル」にストックされ、イベントが終了したのちも団体情報の発信に活用されています。

また、平成19年度は、市民活動団体の情報にプラスしてCSR(企業の社会貢献活動)情報の収集も積極的に行いました。

1階情報サロンに設置した「CSRコーナー」には、企業から取り寄せたCSRレポート約200社分を配架しています。



# ◆ イベント紹介 7月 ◆

開催日時	イベントタイトル	貸室	参加費	主催/問い合わせ先
7月5日(土) 13:30~17:00	少年事件を通して見えてくるもの!!少年と親に寄り添う弁護士が語るホントの話	研修室1	500円 (事前申込不要)	みやぎ「非行」と向き合う親たちの会 Tel:080-1838-7464 (星野はるか)
7月5日(土) 18:00~19:00	「HIV/AIDSの超基本!」学習会	研修室1	500円 (事前申込必要)	東北HIVコミュニケーションズ (厚労省エイズ対策研究) E-mail: thc@canpan.info (太田) Fax: 022-268-4042 No.69
7月10日(木) ~全6回 18:30~21:00	足の疲れを感じていませんか?簡単に学べてボランティアなどにも活用出来るフットケアを習おう	研修室3	受講料20,000円 認定・申請テキスト代10,000円 教材費7,000円 (事前申込必要)	JRFA足市場 Tel&Fax: 022-223-9023 携帯: 090-7564-9831 (森)
7月11日(金) ~13日(日)	劇団麦創立45周年記念第92回公演『板場』	市民活動シアター	前売券 一般:2,000円 中高生:1,000円 小学生:500円 シニア:1,000円 ペア:3,000円	劇団麦 Tel:070-5475-2158 (制作:阿部)
7月13日(日) 13:20~16:30	シニア元気笑学校・第5期最終日 1校時・エンディングプラン④ 2校時3校時・交流とパーティ	セミナーホール	1,000円 (事前申込必要)	シニア元気笑学校 ※申し込みはFaxで Tel:022-248-3765 Fax:022-248-3775 (校長・渡辺源治)
7月13日(日) 14:30~17:30	ペットブームの影に一犬・猫の保護を考えるー	研修室2	一般:500円 W会員:300円 WW会員:無料 (事前申込必要)	ホワイト・ウェーブ Tel&Fax:022-797-7650 (麻生未来)
7月15日(火) 19:00~20:30	NPOのためのチラシデザイン講座	研修室1	1,000円 (事前申込必要)	メディアデザイン (千葉) Tel:090-3049-0613 Fax:022-224-5308
7月19日(土) 13:30~16:30	寺子屋マルファン。マルファン症候群ってなに?基礎知識を学び、皆で情報の交換をしましょう!	研修室1	参加費 500円 (小学生 100円) +テキスト代500円 (事前申込必要)	NPO法人日本マルファン協会 Tel:090-6681-8505 Fax:052-243-0658 (小野寺一宏)
7月21日(月) 13:00~15:30	寿だるま先生講演会 「忘れかけた心をあなたに」	セミナーホール	1,000円 (前売り券有り)	NPO法人コンパストウキョウジャパン Tel:022-262-9923 (ピカソ美容院) Fax:022-226-2277 山田弘子、中山真実
7月26日(土) 13:00~15:00	小岩勉のフォトワークショップ	研修室2	1,000円 (事前申込必要)	メディアデザイン (千葉) Tel:090-3049-0613 Fax:022-224-5308



- サポートセンターで行われる、参加者募集中のイベントを紹介しします。
- 原則として各団体に提出していただいた文章をそのまま掲載しています。
- 毎月5日締め切りで、翌月サポートセンターを会場に開催するイベント情報を募集しています。掲載をご希望の方はお問い合わせください。

## 仙台市シニア活動支援センターからのお知らせ

- セカンドライフの相談を個別にそして段階に応じて受け付けます。詳細はお問い合わせください。

### < 申込み・問合せ >

仙台市シニア活動支援センター (サポセン3階)  
TEL:217-3983

シニア専門相談 <無料/予約制/1組1時間程度>		シニア総合相談 <無料/先着5人/予約制>	
相談日時	テーマ	相談日時	内容
7月12日(土) 午前10時~午後6時	仙台には約1万人の外国籍市民が住んでいます!文化交流・生活支援の活動に参加してみませんか? [相談員] (財)仙台国際交流協会 企画事業課 チーフアドバイザー 小浜 道子さん (特活)ICAS国際都市仙台を支える市民の会 副理事長 津田 宏さん	7月24日(木) 午後1時~8時	テーマを定めずセカンドライフの相談に専門相談員が幅広く応じます。 [相談員] シニア元気笑学校 校長 渡辺源治さん

# お知らせ ●○○●

## ロッカー・レターケース 使用団体募集！！

NPOやボランティア団体など、自発的で公益的な活動を行う団体が利用できます。

ロッカーは活動に必要な荷物の収納場所として、レターケースは団体宛の郵便物・FAXの受け取り先としてお使いいただけます。

- 使用期間：ロッカー 2008年9月1日～2009年8月30日  
レターケース 2008年9月1日～2009年8月31日
- 募集数・使用料：ロッカー（大） 10個・1200円／月  
ロッカー（中） 28個・800円／月  
ロッカー（小） 80個・400円／月  
レターケース 168個・無料
- 申込受付期間：7月7日（月）～7月23日（水）  
9：00～21：00（日曜日は17：00まで）
- 申込方法：サポートセンターで配布する申込用紙で申込  
※ホームページから申込書をダウンロードできます。



■問い合わせ・申し込み先  
仙台市市民活動サポートセンター  
TEL 212-3010 FAX 268-4042

## 仙台市市民活動サポートセンターとは

さまざまな分野の市民活動団体やNPO法人、ボランティアなど、非営利で公益的な活動をしている人たちや、これから活動しようと考えている人たちのための拠点施設です。

- 開館時間 平日 / 午前9時～午後10時  
日曜・祝日 / 午前9時～午後6時

- 休館日のお知らせ（施設点検等のため）

**7/30(水) 8/27(水)**

## サポートセンターのサービスあれこれ

- 貸室  
（研修室・セミナーホール・市民活動シアター／有料）  
打合わせ、講演会、シンポジウム等で使えます。
- ロッカー（有料）レターケース（無料）事務用ブース（有料）
- 交流サロン  
少人数の打合わせに予約なしで使えるフリースペース（無料）  
チラシ・ポスターの掲示、展示スペース  
インターネット接続スペース（要申込／無料）
- 情報サロン  
市民活動団体に関するさまざまな情報があります。  
市民活動相談の受付や図書の見学・貸出も行っていきます。  
市民活動に関する情報収集用インターネット閲覧（無料）
- 印刷作業室  
印刷機（紙持ち込み／1製版100円、紙折り機（無料））  
コピー機（1枚10円）

## ■ 問い合わせ先 ■

発行 行：仙台市市民活動サポートセンター  
（指定管理者：特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター）  
〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3  
TEL:022-212-3010 FAX:022-268-4042  
ホームページ <http://www.sapo-sen.jp>

発行日：2008年6月23日  
編集：特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター  
編集人：小松州子 本田ふみ 葛西淳子

- ★古紙再生紙を使用しています。
- ★大豆油インキを使用しています。



## 編集後記

◆閉館後、勤務を終えて夜空を見上げる。織姫は…彦星は…宇宙ステーション“きぼう”は…星空に思いをはせる夏の夜です。（葛西）  
◆久々に通った道で、新しいビルが建っていて驚くことが多くなりました。街の表情が変わる前に、街歩きをして、仙台の魅力や歴史にふれておこうと思うこの頃です。（小松）

## ■ 案内図 ■



- ご来館の際は、公共交通機関をご利用ください。  
[最寄のバス停]電力ビル前、商工会議所前、  
広瀬通一番町前、地下鉄広瀬通駅前  
[地下鉄]広瀬通駅西5番出口すぐ
- 当施設に駐車場・駐輪場はございません。  
お車や自転車でご来館される方は、  
周辺有料駐車場・駐輪場をご利用ください。  
[注]路上駐車は周辺の迷惑となりますのでおやめください。

仙台市市民活動サポートセンターは、特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンターが仙台市の指定管理者として、管理運営を行なっています。  
指定管理期間：2007年4月1日～2010年3月31日